

# 日刊建設工業新聞

SANKEN

空 気 と 水 の 環 境 創 造 企 業

## 三建設備工業

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-21 茅場町ファーストビル TEL.03(6280)2561  
http://skk.jp/

### 竹延グループ 職人育成で新たな取り組み

関西を拠点に事業展開する建築塗装の竹延(大阪府都島区、竹延幸雄社長)は、職人育成で新たな取り組みを始める。グループ会社の拠点を移した京都府で来春から手掛ける神社仏閣の改修工事の現場に、若い人材を積極登用。左官工事などにも対応できるように、ここ数年力を入れて育てたマルチクラフター(多能工)による施工を通じ、職人としてのレベルアップを図る。

(編集部・岩本英司)

1950年創業の同社で行う職人育成の取り組みは、主にゼネコンの下請として地歩を固め、内外装リニューアル工事なども手掛けている。竹延社長が副社長だった13年、人材確保・育成を主軸とするKMユナイテッドをグループ会社として創業。女性や外国人なども積極的に登用するダイバーシティ(人材の多様性)経営を推し進めてきた。KMユナイテッドは17年6月に本社機能を大阪市から京都市に移転し、伝統建築が根付く地域で新しい技術も取り込んだ事業を展開している。今春、清水寺(京都市東山区)で初めて行われた竹延グループの入社式は、こうした取り組みを内外にアピールする場になり、話題になった。

京都での本格的な事業展開の一環として同社グループは、建設業振興基金(振興基金、佐々木基理理事長)が建設労働者緊急育成支援事業の一環で22日から京都府木津川市の当尾の郷会館

### スコープ 専門工事業

## 神社仏閣補修に若手積極登用

### 技能習得 出報告 スマホ時代対応のシステム開発も



これからの職人育成を語る 竹延社長

人育成を行うことができる木津川モデルを構築し、全国に発信していきたい」と意気込む。

アカデミーの取り組みと合わせ、来春から始動する京都の神社仏閣の補修工事を、自社の職人育成の場に位置付ける。竹延グループは、入社した人材を富士教育訓練センター(静岡県富士宮市)の左官コースに送り、塗装施工にも通じるこの使い方を習得させながら、建築塗装にとどまらないマルチクラフターの育成を推進してきた。

竹延社長は「できるだけコストを掛けずに継続的に職人育成を行うことができればよいが、数年後に迎える彼らのリタイアによって、技能伝承が簡単にはできなくなるからだ。」

「技ログ」でいつでもどこでも技能が学べる。そこで竹延社長は「技ログ」と呼ぶ新たなシステムをITベンダーと共同で構築。ベテランの技を映像と

独特な伝統が根付く京都の建設市場で販路を切り開き、建築塗装会社としての裾野を広げる狙いがある。「レジェンド」と竹延社長が敬意を込めて呼ぶベテラン職人がまだ社内では活躍

して残し、スマートフォンなどを使って「いつでもどこでも・誰でも」学べる環境を整えた。

技ログの整備には、戸田建設や富士教育訓練センターにも全面協力。建築塗装だけでなく幅広い職種の技能の映像を取り込み公開する「建設技能のポータルサイト」(竹延社長)として機能させたい考えだ。国土交通省が17年度に制作した建設トレーニングプログラム(建トレ)の映像も活用できるようにし、これまで「暗黙知」とされてきたベテラン職人の技能を可視化、数値化して、現場の安全確保を含めた人材育成に



建設労働者緊急育成支援事業が始まる当尾の郷会館

コネキャリアはスマホ時代を生かせる若手のために、手間の掛かる現場作業以外の手続きに要する時間を極力排除しようと開発した。竹延グループに所属する全ての社員職人を対象として11月に本格運用を開始。建設キャリアアップシステムとも連携して、職人の経験や能力を適正に評価し、処遇改善につなげられるようにする。

現場の4週8閉所を目指す働き方改革も視野に入れ、二つのシステムに加え塗装ロボットの開発も進めており、生産性と付加価値の向上を図りたい考えだ。



「技ログ」でいつでもどこでも技能が学べる